

速報**全国学力・学習状況調査結果（下野市の概要）**平成21年9月3日
下野市教育委員会

平成21年度の全国学力・学習状況調査の下野市の結果（国語，算数・数学）は，全国の平均正答率と比べ，小学校はほとんどの領域で，中学校はすべての領域で，全国平均正答率を上回る結果となりました。

全国学力調査

- A問題(主として「知識」に関する問題)
- B問題(主として「活用」に関する問題)
- ◇国語の領域(小・中)「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」
- ◇算数の領域(小)「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」
- ◇数学の領域(中)「数と式」「図形」「数量関係」

全国学習状況調査

- 質問数 小学校，中学校ともに77問
- 回答方法 4つから選択
- 質問内容 小学校，中学校ともに同じ内容
 - 基本的な生活習慣 ○目標，達成感，長所 ○学習・テレビ・ゲーム時間
 - 家庭でのコミュニケーション ○関心・意欲・態度 ○規範意識・道徳性
 - 教科・学習の取り組み ○解答時間 等

全国学力調査結果 下野市と全国平均との比較 【H19～21全体比較】

- ◎大きく上回っている(5ポイント以上) ○上回っている(1ポイント以上5ポイント未満)
- 同じ(±1ポイント未満)
- ▽下回っている(1ポイント以上5ポイント未満) ▼大きく下回っている(5ポイント以上)

小学校	平成19年度	平成20年度	平成21年度	中学校	平成19年度	平成20年度	平成21年度
国語A	○	○	○	国語A	◎	○	○
国語B	◎	○	○	国語B	◎	◎	◎
算数A	○	○	—	算数A	◎	◎	◎
算数B	◎	○	—	算数B	◎	◎	◎

全国学力調査結果 下野市と全国平均との比較 【H21 領域別比較】

◎大きく上回っている（5ポイント以上）

○上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）

－同じ（±1ポイント未満）

▽下回っている（1ポイント以上5ポイント未満）

▼大きく下回っている（5ポイント以上）

小学校国語	国語A	国語B	小学校算数	算数A	算数B
話すこと・聞くこと	◎	○	数と計算	○	－
書くこと	○	○	量と測定	▽	－
読むこと	○	○	図形	－	○
言語事項	－	○	数量関係	○	－

中学校国語	国語A	国語B	中学校数学	数学A	数学B
話すこと・聞くこと	○	△	数と式	○	◎
書くこと	○	◎	図形	◎	◎
読むこと	○	◎	数量関係	◎	◎
言語事項	○	△			

1 小学校の全国学力調査結果について

国語は、A・B問題とも、全国の平均正答率をどの領域も上回っていました。特に、国語のA問題では、4領域の内「話すこと・聞くこと」が5.2ポイント上回っていました。

算数は全体的にはA・B問題ともに、わずかに全国平均を上回っていました。しかし、算数のA問題では、4領域の内「量と測定」が2.3ポイント、「図形」が0.3ポイント、全国の平均正答率を下回っており、課題となりました。

2 中学校の全国学力調査結果について

国語のA・B問題、数学のA・B問題ともに、全国の平均正答率をどの領域も上回っていました。

国語はA・B問題合わせて6領域中、B問題の2領域「書くこと」「読むこと」で、数学はA・B問題合わせて6領域中5領域で、5ポイント以上全国の平均正答率を上回っていました。

3 小・中学校の全国学習状況調査結果について

今年度の学習状況調査（児童・生徒質問紙）の結果も、小中学校ともに77項目中39項目で全国・県平均を上回っていました。

特に「基本的な生活習慣」、「家庭での学習習慣」、「友達や地域との関わり」、「国語や算数・数学の学習への取組」等については、昨年度同様よい結果が認められました。また、昨年度の課題であった「将来の夢や目標」については、今年度は改善が見られました。

今後、この結果を分析し、学校・家庭・地域における学習指導や生活指導の工夫改善等に生かし、児童・生徒のさらなる学力向上につなげていきたいと考えています。